



(東証1部:6848)

東亜ディーケーケー株式会社

平成29年3月期第3四半期決算補足説明資料

平成29年2月

平成29年3月期第3四半期決算サマリー



- 売上高は海外(中国向け)で増進したが国内は伸び悩み減少
- 利益は売上高の減少と売上原価率の上昇により減益
- 単月黒字化88ヶ月連続記録達成更新中 (平成21年9月から7年4ヶ月)

(単位:百万円)

	H27.3Q 実績	H28.3Q 実績	前年同期比増減	
			金額	%
売上高	10,121	9,974	△147	△1.5
営業利益	823	730	△92	△11.2
経常利益	859	777	△82	△9.5
四半期純利益	546	501	△44	△8.2

(注)本説明資料中の記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

計測機器事業(減収・減益)

売上高9,813百万円(1.1%減)、セグメント利益1,221百万円(3.7%減)

- 国内の売上高は依然として設備投資の力強さに欠け減収
 - ①環境・プロセス分析機器分野の基本プロセス、大気・排ガス、上下水道が減少
 - ②科学分析機器分野のラボ用分析計は増加、ポータブル分析計は微減、医療関連機器は伸び悩み
 - ③電極・標準液、保守・修理は前年同期並み
- 海外は、中国(環境用水質)向け水質計が好調裡に推移し増収
- 利益面は、国内市場における環境・プロセス分析機器分野の売上高減少と売上原価率の上昇により減益

不動産賃貸事業(減収・減益)

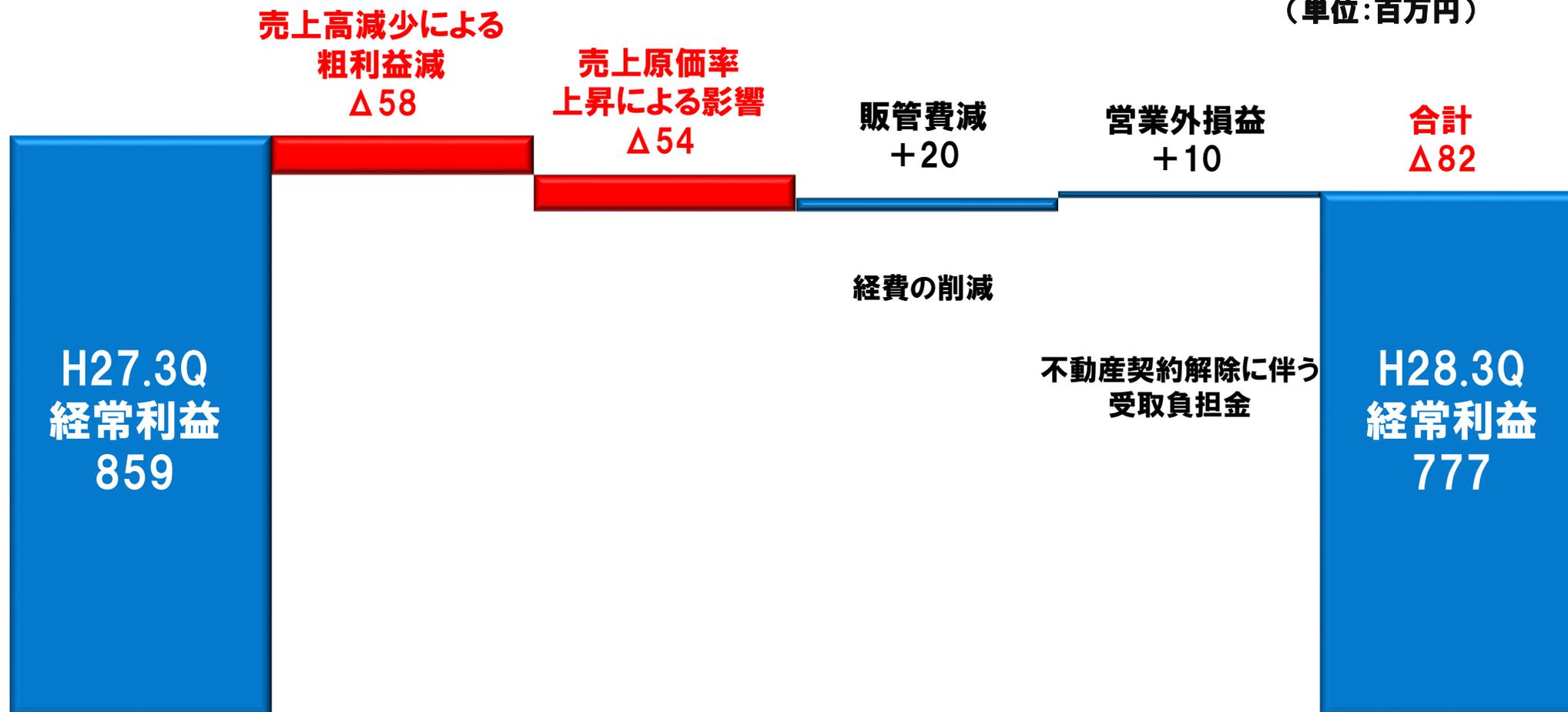
売上高160百万円(19.6%減)、セグメント利益82百万円(32.8%減)

- 狭山貸店舗の契約満了に伴う解約により減収・減益

第3四半期経常利益増減分析



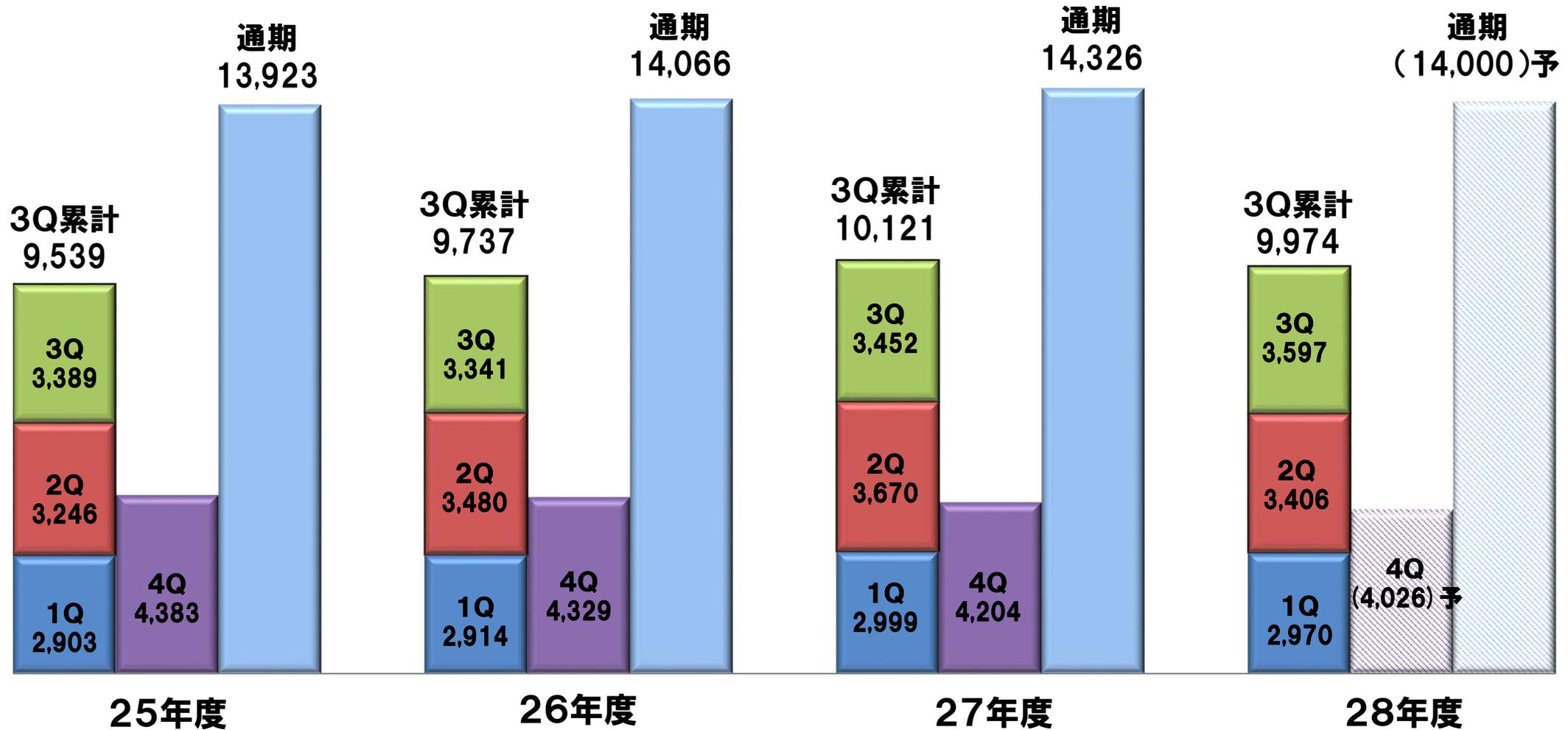
(単位:百万円)



四半期別経営成績（売上高）



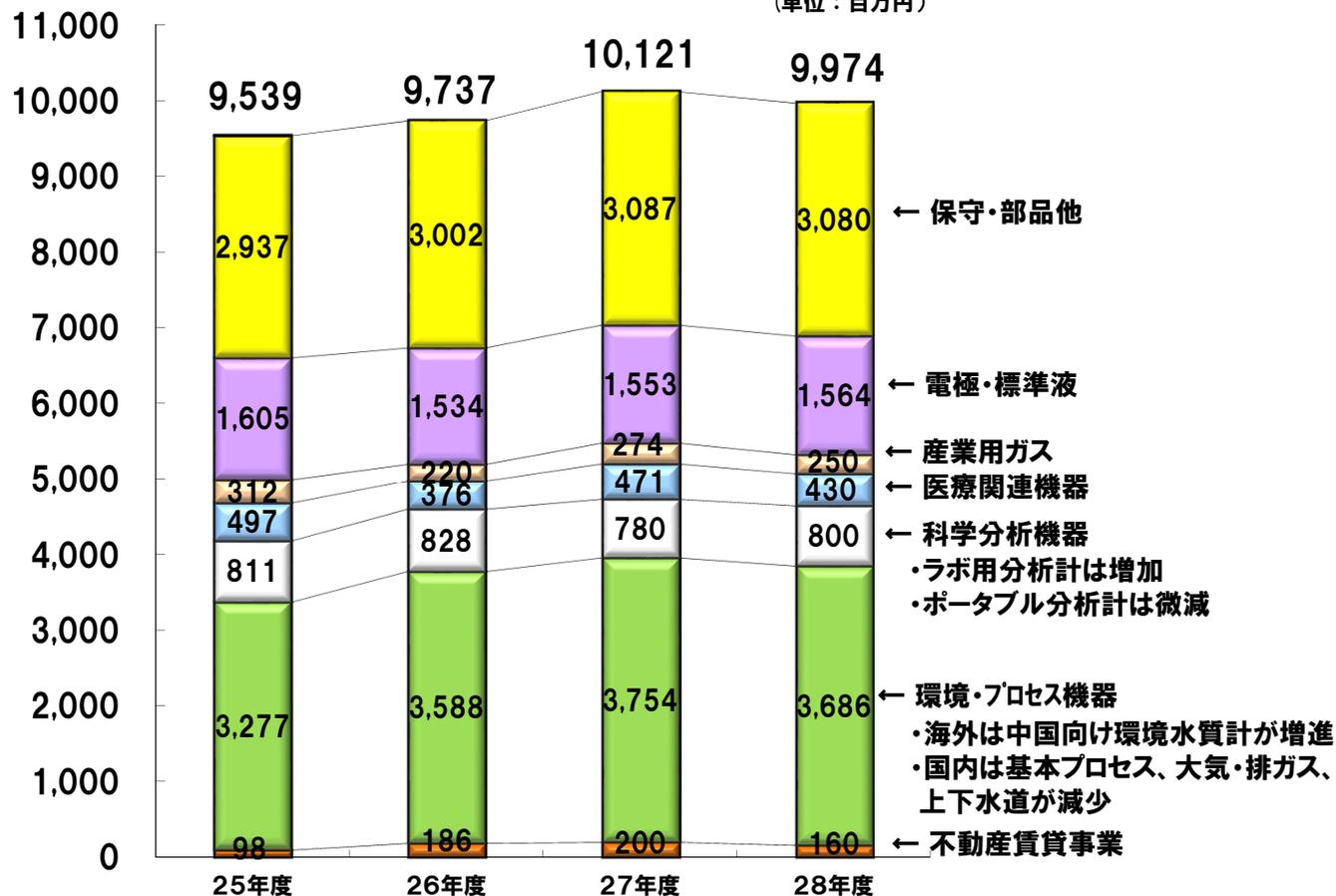
（単位:百万円）



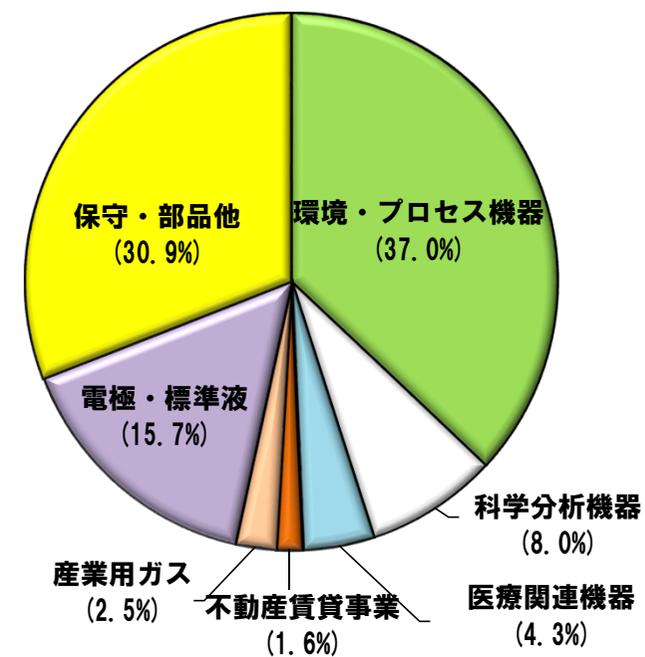
第3四半期売上高推移と構成比

売上高推移

(単位：百万円)



売上高構成比

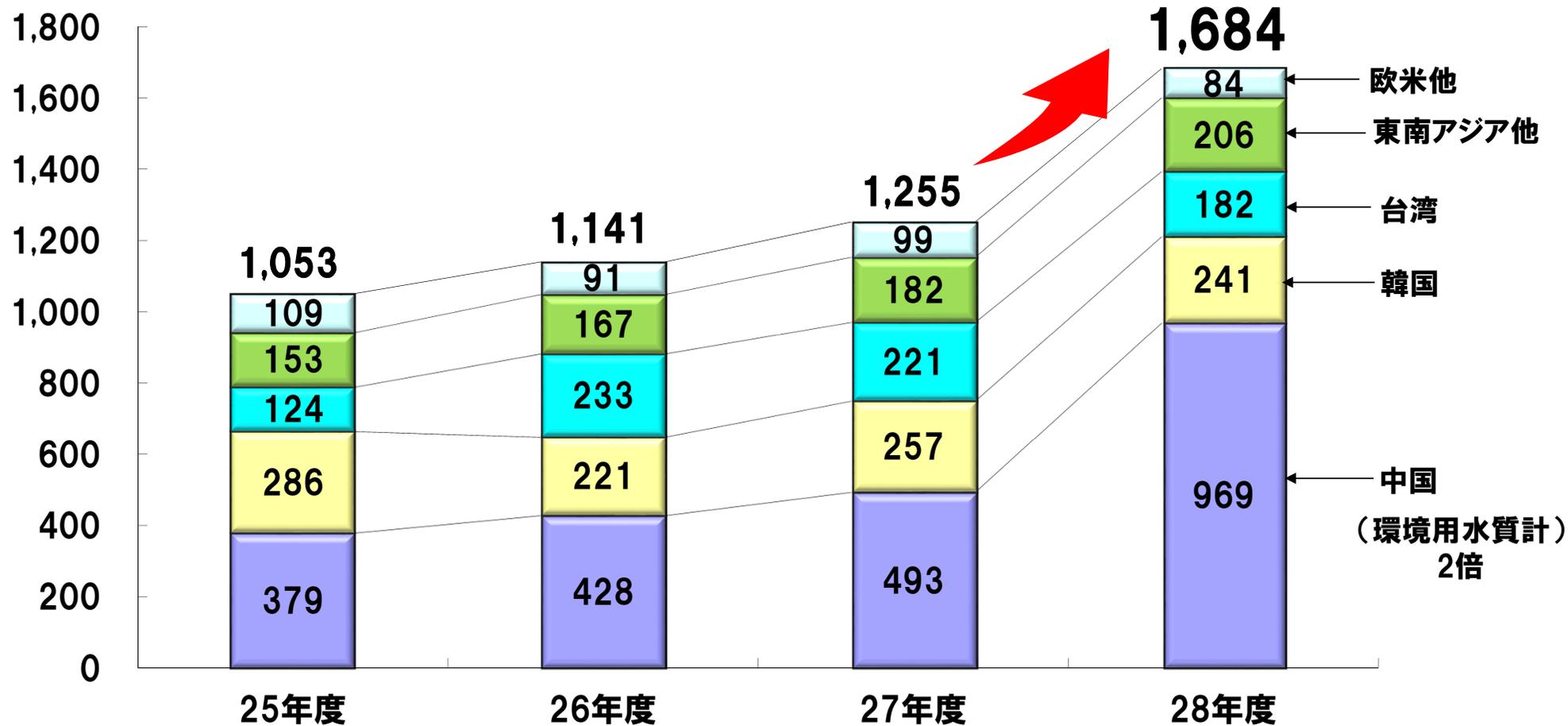


海外売上高第3四半期推移



対前年同期比 **+34.2%**

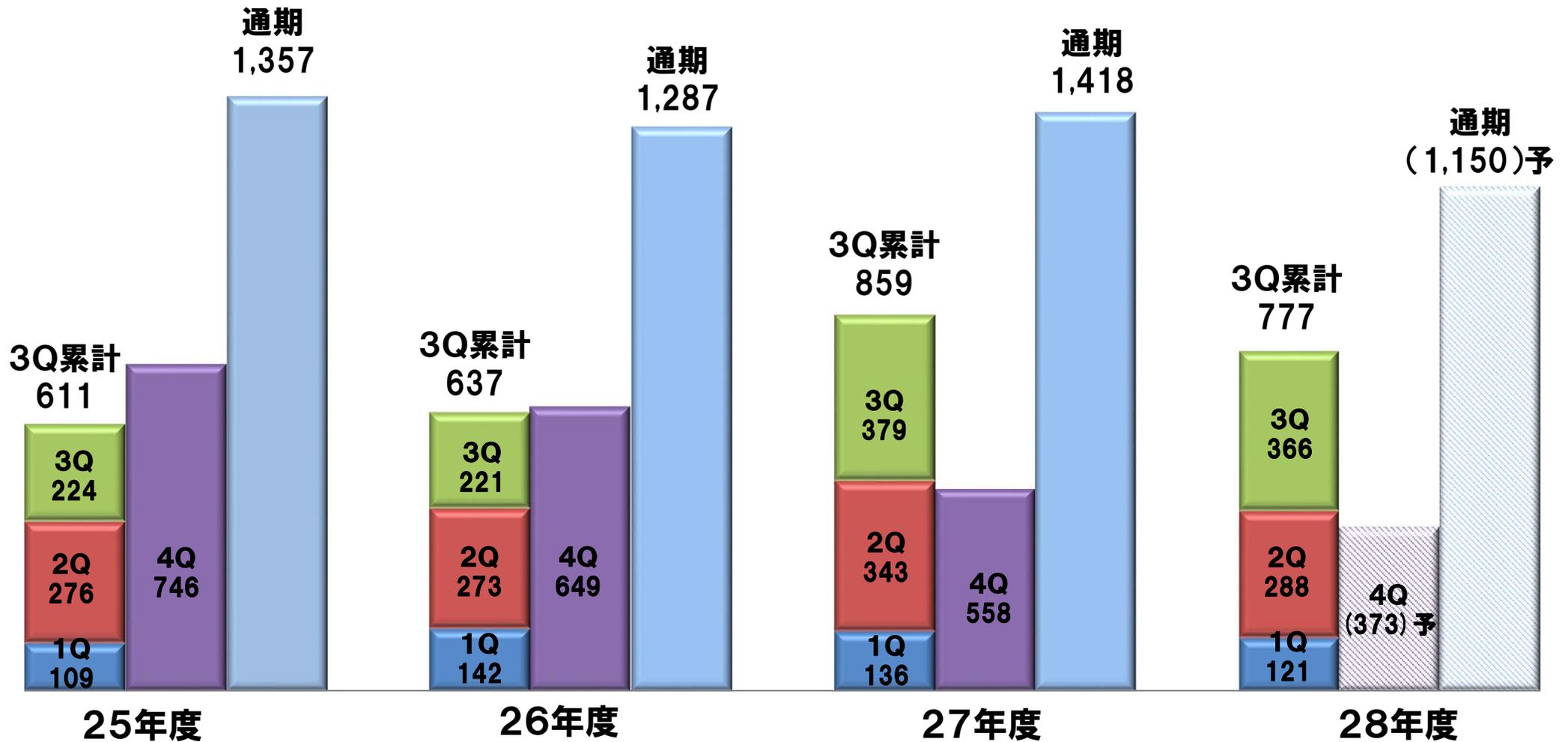
(単位:百万円)



四半期別経営成績（経常利益）



（単位:百万円）



貸借対照表及び損益計算書(要約)



貸借対照表

(単位:百万円)

	前期 28年3月末	当期 28年12月末	増減
(資産の部)			
流動資産	12,976	13,227	251
現金及び預金	4,869	5,127	257
売掛金及び受取手形	5,533	5,405	△127
棚卸資産	1,937	2,182	245
その他	635	511	△123
固定資産	5,675	5,672	△3
資産合計	18,651	18,899	248
(負債の部)			
流動負債	2,923	2,740	△183
固定負債	3,267	3,204	△63
負債合計	6,191	5,944	△247
(純資産の部)			
株主資本	12,003	12,267	263
資本金	1,842	1,842	—
資本剰余金	1,297	1,297	—
利益剰余金	8,875	9,138	263
自己株式	△11	△11	△0
その他の包括利益累計額	456	687	231
純資産合計	12,459	12,954	495
負債純資産合計	18,651	18,899	248

1. 総資産は現金及び預金、棚卸資産の増加等で248百万円増加
2. 自己資本比率は68.5%となった

損益計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期 27年4月1日 27年12月31日	当第3四半期 28年4月1日 28年12月31日	増減
売上高	10,121	9,974	△147
売上原価	6,084	6,049	△34
売上総利益	4,037	3,925	△112
販売費及び一般管理費	3,214	3,194	△20
営業利益	823	730	△92
営業外収益	49	62	12
営業外費用	13	15	2
経常利益	859	777	△82
特別利益	—	0	0
特別損失	4	0	△4
税金等調整前四半期純利益	854	776	△77
法人税等	308	274	△33
四半期純利益	546	501	△44

平成29年3月期業績予想



- ・主力の環境・プロセス分析機器分野は、国内の総量規制のリプレース需要の拡大で環境用水質の売上増を見込む。上下水道は厳しい状況が続くものの大口案件の受注増で拡大を図る。
- ・海外は、引き続き中国向け環境用水質計が好調裡に推移。
- ・医療関連機器は、OEMの拡大により業績寄与を期待。

今後も厳しい国内需要環境が続きますが、現時点では平成28年10月28日に公表の通期業績予想は修正なし。

なお、この通期業績予想の中、親会社株主に帰属する当期純利益は埼玉県狭山市に賃貸用不動産として保有している土地(約2,000坪)を売却交渉中であり、これに伴う特別利益を約330百万円見込み増益としております。

また、業績予想修正の必要が生じた場合は速やかに開示させていただきます。

(単位:百万円)

	H28.3 実績	H29.3 予想	増 減	
			金額	%
売 上 高	14,326	14,000	△ 326	△ 2.3
営 業 利 益	1,367	1,100	△ 267	△ 19.5
経 常 利 益	1,418	1,150	△ 268	△ 18.9
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	931	1,030	99	10.6

「第10回日中省エネルギー・環境総合フォーラム」調印プロジェクト文書交換式に参加 ～当社2件の「環境保全の技術合作契約」を披露～

調印プロジェクト文書交換式において、世耕弘成経済産業大臣、宗岡正二日中経済協会会長、徐紹史国家発展委員会主任、高燕商務部副部長らのご出席の下、日中間の協力プロジェクトとして、

- ① 重慶SIC社との「環境大気測定装置の技術および販売提携」
- ② 北京牡丹社との「発生源VOC*測定に関する技術および販売提携」の締結を披露

*VOC (Volatile Organic Compounds) 揮発性有機化合物でPM2.5の生成物質

フォーラムの趣旨

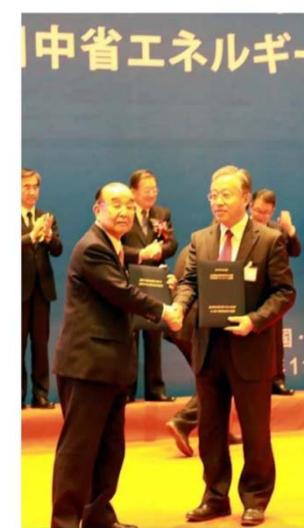
日中の省エネルギー・環境分野における協力の重要なプラットフォームとして、両国官民による具体的な協力プロジェクトの実現や両国の当局者間の相互理解の促進を図る。

フォーラムの概要

日程：平成28年11月26日
場所：中華人民共和国・北京市
主催者：＜日本側＞経済産業省、一般財団法人日中経済協会
＜中国側＞中国国家発展改革委員会、商務部



北京牡丹社 楊董事長



重慶SIC社 吳董事長

1. 本資料は当社をご理解いただくために作成したものであり、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。
2. 本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
3. 将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用ください。
4. 業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成しておりますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。
5. 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、皆様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

＜お問い合わせ＞
東亜ディーケーケー株式会社
経営戦略部 経営企画課

電話:03-3202-0242
メール:ir@toadkk.co.jp
URL:http://www.toadkk.co.jp/